

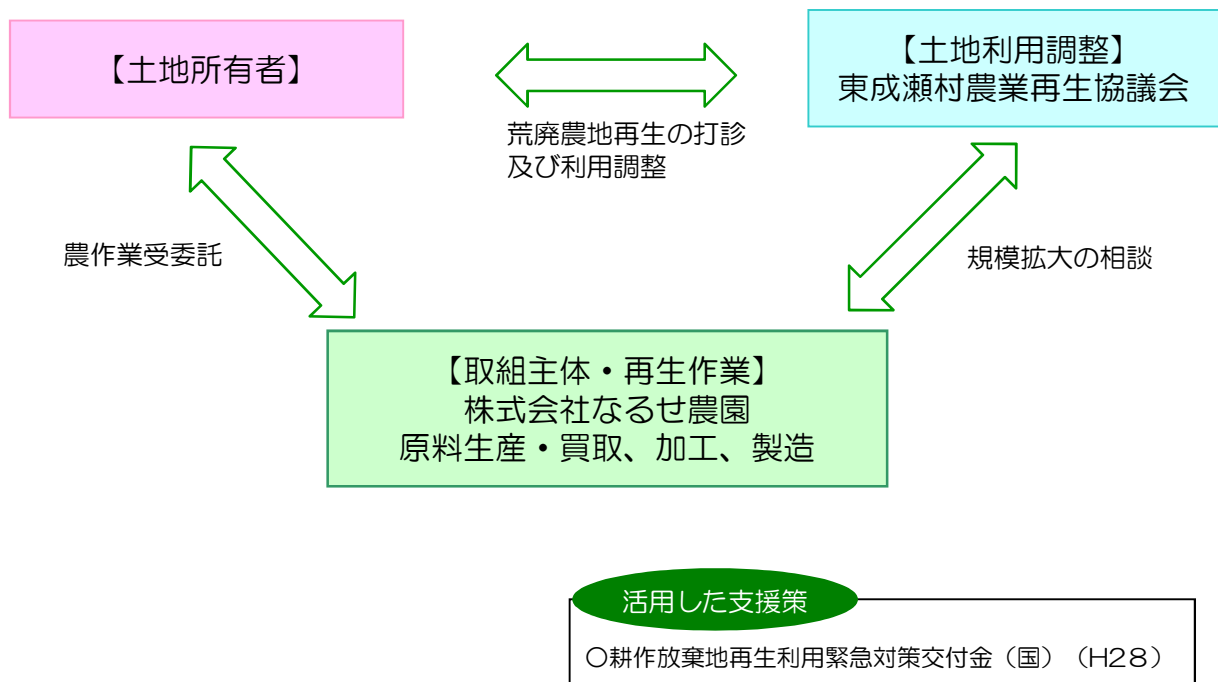
荒廃農地を活用した「燻り大根」の原料調達と地域振興

取組主体	・株式会社なるせ農園(認定農業者)	地区名	・滝ノ沢地区
解消面積	・2.0ha	取組年次	・平成28年～
解消内容	・作物作付け(加工用大根)	放棄の理由	・高齢化による労働力不足及び後継者不足
取組のきっかけ	・地域特産品の原料調達が困難	荒廃の程度	・雑草の繁茂、一部樹木化

取組・経営の概要

- 高齢化が進み、里地里山に手が入りにくくなっており、荒廃農地が増加していることが村の課題となっていました。
- 一方、地域の特産品である「燻り大根」の原料の栽培・加工・製造を行っている当法人では、「燻り大根」の人気の高まってきているものの、周囲の農家の減少により大根の生産が少なくなってきたことから、原料の調達が困難となっており製造量を増やせないという課題がありました。
- そのため、当法人自らが引き受け手のいない村内の荒廃農地を引き受け、再生し、規模拡大を行うことで、地域の雇用拡大にも繋がり、地域活性化にも役立つと考えました。
- 再生する荒廃農地については、東成瀬村農業再生協議会が土地所有者に対して再生を打診し、了解が得られた荒廃農地2haについて、平成28年に耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して重機を借り受け、伐採、抜根、整地を行いました。また、平成29年には土壌改良を行い2haに加工用大根の作付けを行いました。
- 今後は、栽培及び経営を安定させ、他の荒廃農地についても「荒廃農地等利活用促進交付金」等を活用し、積極的に再生していきたいと考えています。

取組体制



課題と解決

引き受け
手確保

・ 荒廃農地を活用した規模拡大を検討していた株式会社なるせ農園が引き受けました。

利用調整

・ 東成瀬村農業再生協議会が荒廃農地の所有者に再生を打診し、調整を行いました。

再生作業

・ 株式会社なるせ農園が事業実施主体となり、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して樹木の伐採、抜根、整地を行いました。

導入作物

・ 加工用大根を導入しました。

販路

・ 「焼き大根」に加工し、県内のスーパーマーケットへ出荷しています。

取組主体等から一言

〇村の特産品を製造するため、荒廃農地の解消に取り組んでいます。荒廃農地解消にはコストもかかりますが、それ以上に地域活性化によるメリットが大きいと感じます。今後も経営を考慮しつつ加工用大根の作付を拡大していきたい。

【株式会社なるせ農園】

解消状況

再生前



荒廃農地

再生中



雑木・雑草除去

再生後



再生後の農地



耕起作業

連絡先：東成瀬村農業再生協議会（電話番号：0182-47-3406）